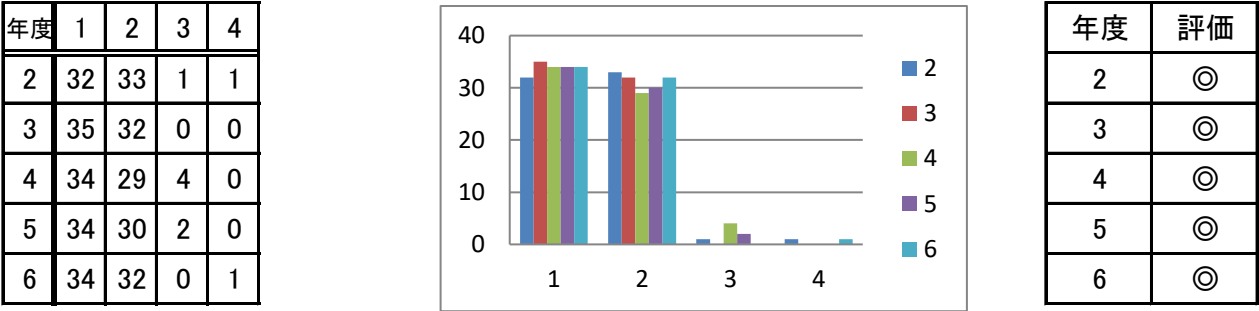


＜評価基準＞				＜評価表示＞		＜集計結果＞	
1	2	3	4	◎	よくできている	13 項目	
できている	まあまあできている	どちらかといえばできていない	あまりできていない	○	できている	8 項目	
				=	ほぼ同数	3 項目	
				▲	あまりできていない	1 項目	
				●	できていない	0 項目	
						25 項目	

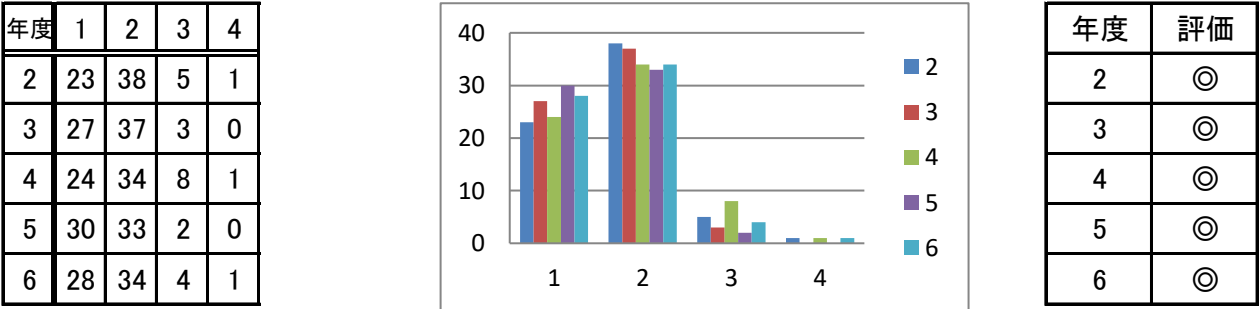
＜参考＞	
◎	1と2の計が81～100%。ただし、1/(1+2)の割合が30%未満なら、○
○	1と2の計が61～80%
=	1と2の計が41～60%
▲	1と2の計が21～40%。ただし、3/(3+4)の割合が30%未満なら、●
●	1と2の計が 0～20%

I 公民館運営全般について

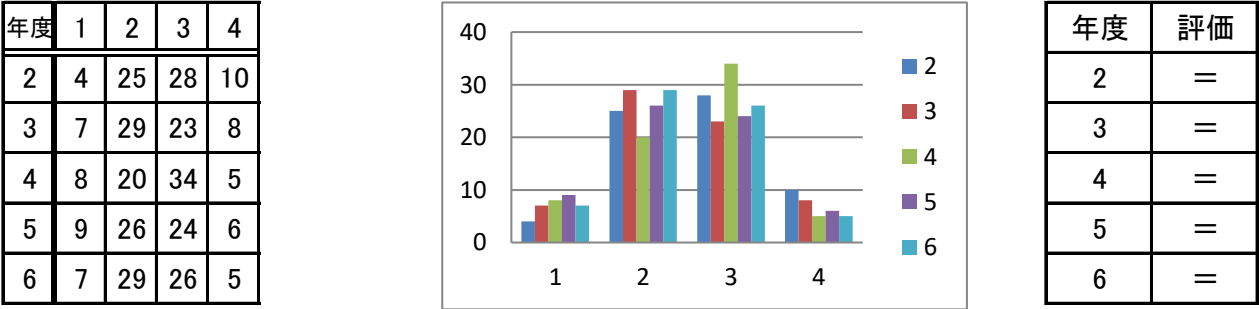
1 地域住民に公民館の目的や利用のあり方について周知に努めていますか。



2 地域住民の意見やニーズを聞く窓口（機会や姿勢も含む）を設け、公民館の運営に反映するよう努めていますか。

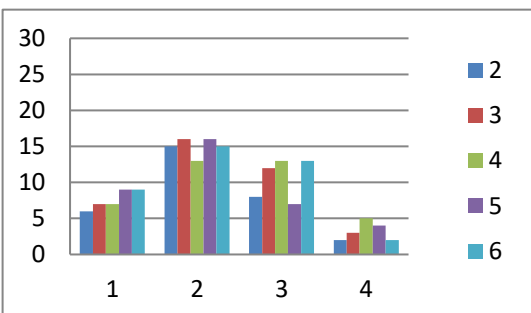


3 公民館の講座（事業）等の成果や改善点等について、参加者へアンケートなどを行なって点検・評価を行っていますか。



4 上記3でおこなっていると答えた館に質問します。点検・評価の結果を、講座生や地域住民に公表していますか。

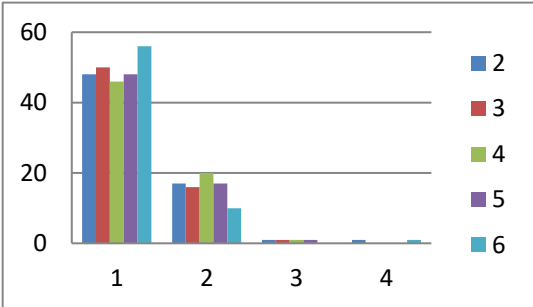
年度	1	2	3	4
2	6	15	8	2
3	7	16	12	3
4	7	13	13	5
5	9	16	7	4
6	9	15	13	2



年度	評価
2	○
3	○
4	=
5	○
6	○

5 日々の接遇及び地域住民からの問い合わせや苦情等への対応が、誠実かつ適切にできていますか。

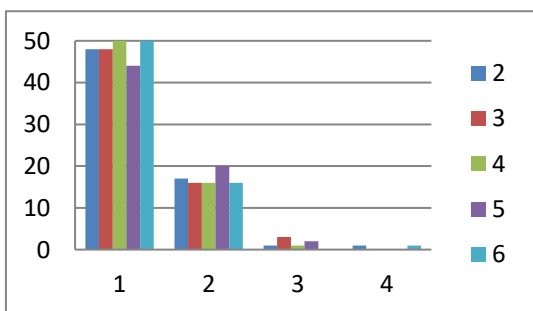
年度	1	2	3	4
2	48	17	1	1
3	50	16	1	0
4	46	20	1	0
5	48	17	1	0
6	56	10	0	1



年度	評価
2	◎
3	◎
4	◎
5	◎
6	◎

6 定期的に施設・設備の安全点検はできていますか。

年度	1	2	3	4
2	48	17	1	1
3	48	16	3	0
4	50	16	1	0
5	44	20	2	0
6	50	16	0	1

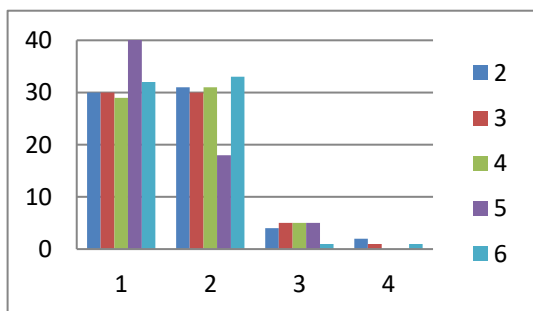


年度	評価
2	◎
3	◎
4	◎
5	◎
6	◎

II つどう

7 住民が公民館に気軽に立ち寄り、交流や情報交換などはできていますか。

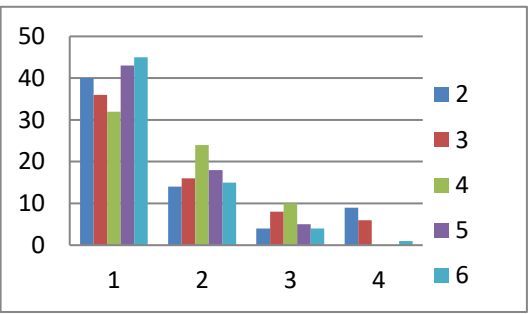
年度	1	2	3	4
2	30	31	4	2
3	30	30	5	1
4	29	31	5	0
5	43	18	5	0
6	32	33	1	1



年度	評価
2	◎
3	◎
4	◎
5	◎
6	◎

8 学習発表会等、地域やブロックで学習成果を発表する機会を提供していますか。

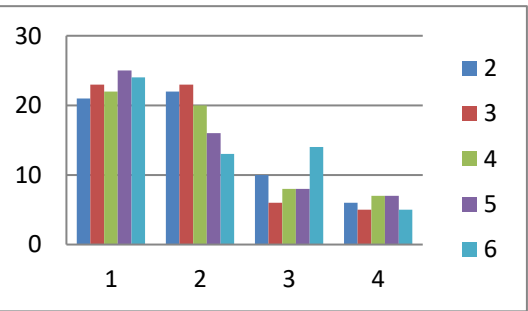
年度	1	2	3	4
2	40	14	4	9
3	36	16	8	6
4	32	24	10	0
5	43	18	5	0
6	45	15	4	1



年度	評価
2	◎
3	○
4	◎
5	◎
6	◎

9 図書室(図書コーナー)は、地域住民が利用活用していますか。

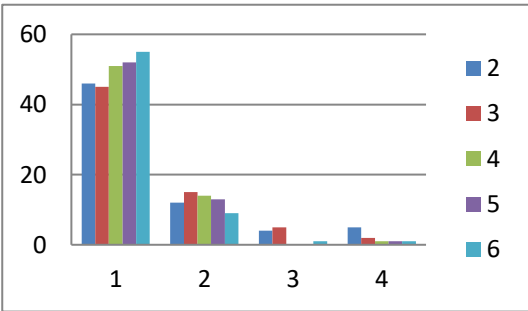
年度	1	2	3	4
2	21	22	10	6
3	23	23	6	5
4	22	20	8	7
5	25	16	8	7
6	24	13	14	5



年度	評価
2	○
3	◎
4	○
5	○
6	○

10 会議室等は、自治会や婦人会や子ども会などの地域の各種団体の会合等に利用されていますか。

年度	1	2	3	4
2	46	12	4	5
3	45	15	5	2
4	51	14	0	1
5	52	13	0	1
6	55	9	1	1

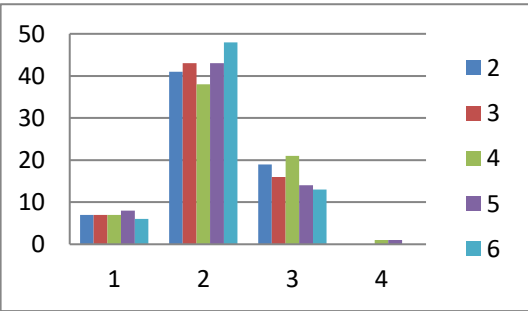


年度	評価
2	◎
3	◎
4	◎
5	◎
6	◎

Ⅲ まなぶ

11 住民のさまざまな学習ニーズを把握できていますか。

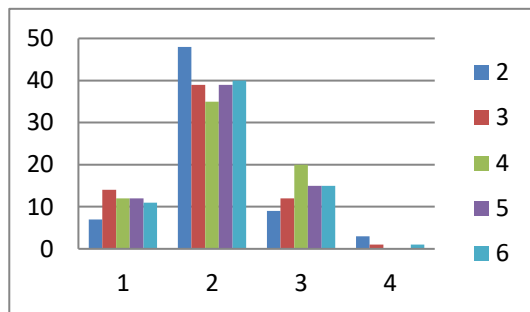
年度	1	2	3	4
2	7	41	19	0
3	7	43	16	0
4	7	38	21	1
5	8	43	14	1
6	6	48	13	0



年度	評価
2	○
3	○
4	○
5	○
6	◎

12 教養講座・地域講座において、講座ごとに内容・効果等の具体的な目標を設けていますか。

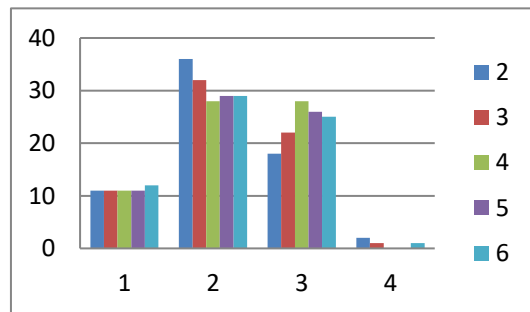
年度	1	2	3	4
2	7	48	9	3
3	14	39	12	1
4	12	35	20	0
5	12	39	15	0
6	11	40	15	1



年度	評価
2	○
3	○
4	○
5	○
6	○

13 文化講座において、講座生と講師と相談しながら講座ごとに内容・効果等の目標を設けていますか。

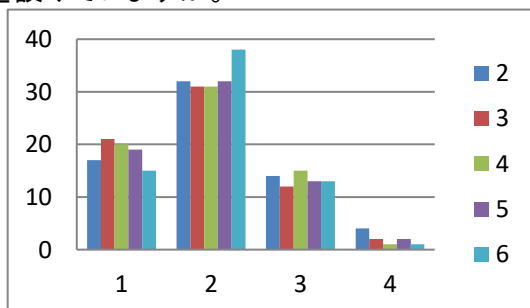
年度	1	2	3	4
2	11	36	18	2
3	11	32	22	1
4	11	28	28	0
5	11	29	26	0
6	12	29	25	1



年度	評価
2	○
3	○
4	=
5	○
6	○

14 公民館の講座や事業の企画・実施・運営に、公民館利用者や地域住民、地域団体〔グループ〕、ボランティア団体等が参画できる機会を設けていますか。

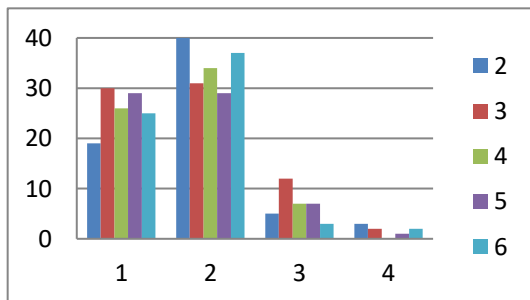
年度	1	2	3	4
2	17	32	14	4
3	21	31	12	2
4	20	31	15	1
5	19	32	13	2
6	15	38	13	1



年度	評価
2	○
3	○
4	○
5	○
6	○

15 現代生活に関わる課題や地域課題に関する講座を実施していますか。

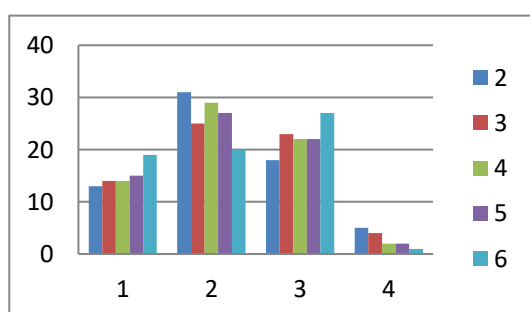
年度	1	2	3	4
2	19	40	5	3
3	30	31	12	2
4	26	34	7	0
5	29	29	7	1
6	25	37	3	2



年度	評価
2	◎
3	◎
4	◎
5	◎
6	◎

16 地域づくり、まちおこし等に関する講座を実施していますか。

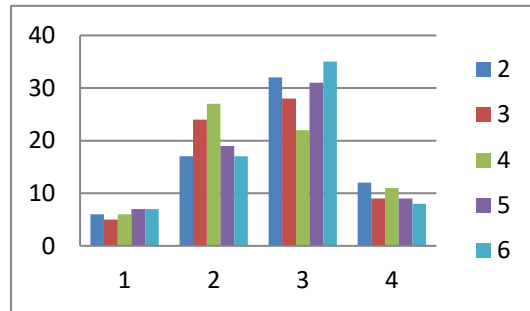
年度	1	2	3	4
2	13	31	18	5
3	14	25	23	4
4	14	29	22	2
5	15	27	22	2
6	19	20	27	1



年度	評価
2	○
3	○
4	○
5	○
6	=

17 公民館または地域におけるリーダーやボランティアを養成する講座や教室を行っていますか。

年度	1	2	3	4
2	6	17	32	12
3	5	24	28	9
4	6	27	22	11
5	7	19	31	9
6	7	17	35	8

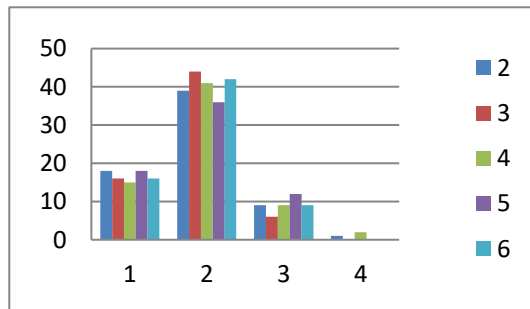


年度	評価
2	▲
3	=
4	=
5	▲
6	▲

IV むすぶ

18 「地域づくり」のための課題を把握できていますか。

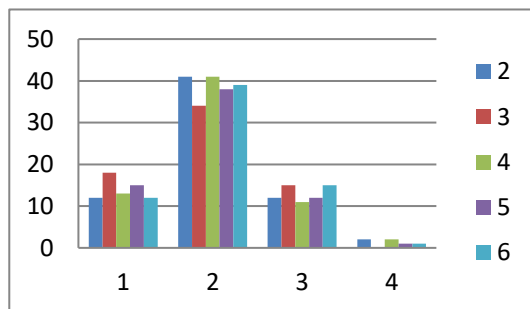
年度	1	2	3	4
2	18	39	9	1
3	16	44	6	0
4	15	41	9	2
5	18	36	12	0
6	16	42	9	0



年度	評価
2	◎
3	○
4	○
5	◎
6	◎

19 講座生や学習グループ、ボランティアグループに対して、情報の提供や相談・助言など、サポートできていますか。

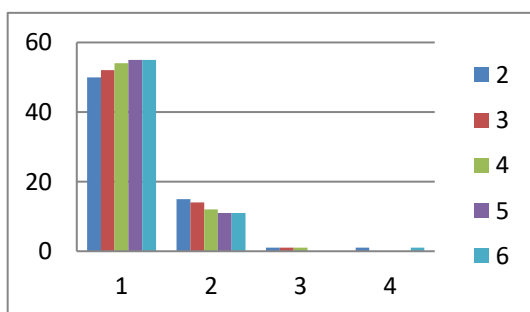
年度	1	2	3	4
2	12	41	12	2
3	18	34	15	0
4	13	41	11	2
5	15	38	12	1
6	12	39	15	1



年度	評価
2	○
3	○
4	○
5	○
6	○

20 講座や事業案内等、地域住民への情報提供に努めていますか。(公民館だよりの発行を含む)。

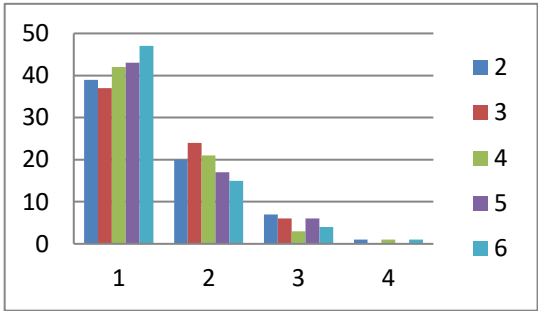
年度	1	2	3	4
2	50	15	1	1
3	52	14	1	0
4	54	12	1	0
5	55	11	0	0
6	55	11	0	1



年度	評価
2	◎
3	◎
4	◎
5	◎
6	◎

21 地域の学校と連携・協力した事業を実施できていますか。

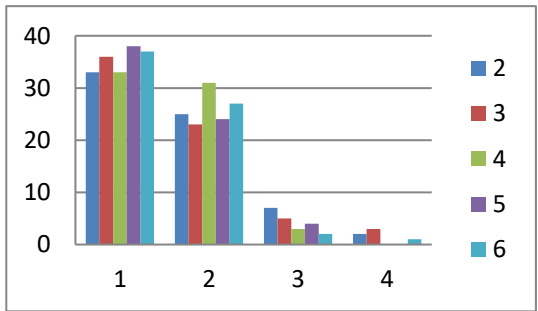
年度	1	2	3	4
2	39	20	7	1
3	37	24	6	0
4	42	21	3	1
5	43	17	6	0
6	47	15	4	1



年度	評価
2	◎
3	◎
4	◎
5	◎
6	◎

22 自治会や婦人会や子ども会などの地域の各種団体等と連携・協力した事業を実施していますか。

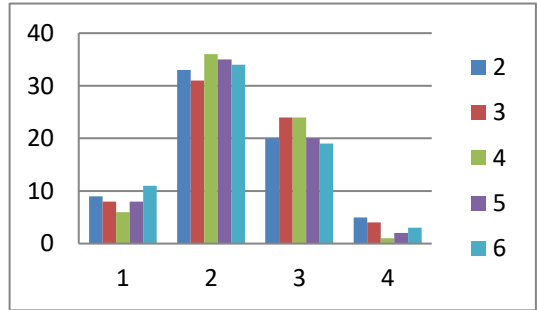
年度	1	2	3	4
2	33	25	7	2
3	36	23	5	3
4	33	31	3	0
5	38	24	4	0
6	37	27	2	1



年度	評価
2	◎
3	◎
4	◎
5	◎
6	◎

23 講座生や学習・地域活動グループ等が相互に交流が図れるような配慮をしていますか。

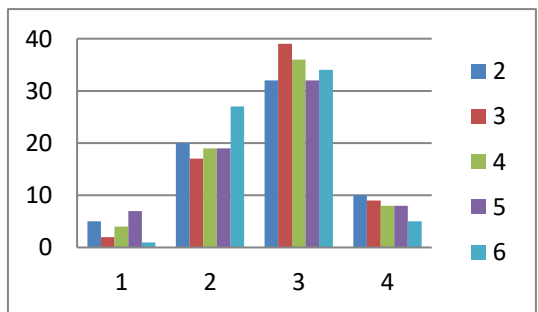
年度	1	2	3	4
2	9	33	20	5
3	8	31	24	4
4	6	36	24	1
5	8	35	20	2
6	11	34	19	3



年度	評価
2	○
3	=
4	○
5	○
6	○

24 講座等の修了者が、公民館活動の指導者・リーダー・サポーター等として活躍する機会がありますか。

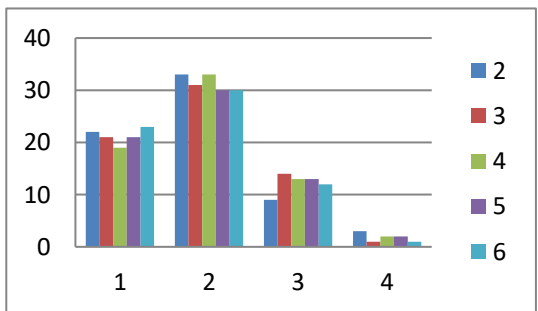
年度	1	2	3	4
2	5	20	32	10
3	2	17	39	9
4	4	19	36	8
5	7	19	32	8
6	1	27	34	5



年度	評価
2	=
3	▲
4	▲
5	▲
6	=

25 公民館をボランティア活動の場として、活用していますか。

年度	1	2	3	4
2	22	33	9	3
3	21	31	14	1
4	19	33	13	2
5	21	30	13	2
6	23	30	12	1



年度	評価
2	◎
3	○
4	○
5	○
6	○

ア 数値目標を設定したもの

- 公民館利用者数の増加(前年度を上回る人数)
- 講座数を今より増やす。
- 昨年度の利用者実績は約12,000人。コロナ禍で落ち込んでいた利用者実績も戻りつつある。本年度は、13,000人を目指している。
- 来館者、年間2,000人(子供、青年40パーセントを含む)
- 新型コロナ前の年間利用者数1万人越えを目指す。
- 教養講座、地域講座においては最低10人以上の参加者を目標に広報等で呼びかける。
- ニーズに応じた講座の充実(年間利用者数20,000人以上)
- 年間の公民館利用者数を二万人以上に。
- 次年度は、今年度の20%増を目指したい。
- 毎月の便りの発行や各世帯に100%行事が終了するまでの状伝達の達成や人口の5%が毎月延べ利用するようになりたい。

イ 住民参加や地域づくりに関する目標を設定したもの

- 地域の皆さんの「生きがいづくり」に貢献すること。
- 地域の方々に、社会教育・生涯学習の場として様々な機会を提供し、一人でも多くの方に公民館に来ていただき、公民館活動を通してお一人お一人が活力ある生き生きとした生活を送ってもらえるよう、又気軽に立ち寄ってもらえる公民館であることを目指す。
- 地域のコミュニティ活動の拠点施設の一つとして、住民の教養の向上、健康増進を図るとともに、地域住民相互の交流を促進し、子どもから高齢者までが気軽に集える公民館を目指す。
- 「地域の特性を理解し、地域の活性化に寄与する」
 - ・ご高齢の皆様には、公民館活動が生きがいになるように
 - ・学校園との連携をとoshi、郷土を好きになる若者の育成
(児童生徒の参加は、ご高齢者の皆さんに元気を与える)
- 地域の課題や地域住民のニーズを的確に把握し、生涯学習の支援や文化活動の機会提供をしていく。こうした取り組みの中で、公民館利用者や地域の各種団体との協力・連携関係を強化し、利用者増加とともに地域づくりの中心的な役割が果たせるような公民館運営を目指す。
- 町民が楽しく利用しやすい明るい公民館づくり
- 独立館竣工から11年が過ぎた。この機会をとらえて連合自治会と連携して10周年記念事業を開催し、公民館の認知度をさらに高めたい。
- 自治会をはじめ各種団体、地域住民を対象とした打ち合わせや会議に利用してもらえる公民館に、また連携を密にし、入館者数を増やす工夫に努めたい。
- 公民館は地域コミュニティーの拠点として、誰もが利用し易く気軽に立ち寄れる場所として、文化講座を中心とした様々な講座を開設して地域の皆さんに楽しく過ごして頂き、地域の活性化と元気の源としての存在でありたい。しかしながら、公民館では各自治会や各種団体及び学校関係との連携が不足している。
- 地域の交流拠点としての役割を果たすことを目標として館の運営に取り組んでいる。そのために、公民館だよりによる情報発信に務めるとともに、地域住民のニーズを考慮した講座の開設を行うなどして、館活動の充実を目指している。
- 地域の人が集える公民館づくり

- 地域や市の情報を発信し、地域を支える拠点とする。
学習や文化活動を通して地域住民や受講者の相互交流を推進し、地域の活性化をはかる。
- ①地域の方が誰もが1度は来た事がある、公民館、これからも来館したいと、言っていただける、講座、行事を推進していく。
- 地域住民の学び、楽しみの場。
興味のあることに楽しく取り組み、日々の生活を豊かにする場。
- 姫路市の公民館は各小学校区に1館設置されている。そのため、地域住民にとって大変身近で親しみやすいという利点がある。その利点を生かし、様々な世代に応じたプログラムを工夫し、多くの住民参加を得る公民館活動を目指している。
- 地区の発展に少しでもお役に立てる公民館
- 地域の幼児から高齢者に至るまで、幅広い年齢層の皆さんに足を運んでいただける公民館運営を目指す。各種情報の収集に努め、地域の皆さんのニーズに応えられる魅力ある年間計画の作成を目指す。
- 魅力ある講座の中で、地域住民が集い、学び、結ばれ、地域に住んで良かったとの思いが育つ公民館。
- 地域住民が気軽に参加・交流できる場として、公民館施設の維持・管理に努める。
- 令和6年度 テーマ 「憩い・学び・健康 地域を絆ぐ公民館」 テーマに沿って補助員と相談しながら、いろいろ計画準備し、取り組んでいくこと。
- 自治会、小学校、中学校をはじめ地域各種団体と連携し、地域コミュニティーの中心でありたいと思う。そのために、公民館だよりなどで活動を発信し、講座などへの参加を促し、地域住民に幅広く親しまれる公民館でありたい。
- 地域住民のニーズに対応して、今年度、3つの新たな文化講座を立ち上げた。よりいっそう、地域の声に耳を傾け、公民館の活性化を図る。そして、小さな子どもから、ミドル世代、シニア世代まで、各世代の地域住民が集い、学び、ふれあえる公民館運営をする。
- ・地域の人材活用(講師・ボランティアの活動等)
・地域(連合自治会・学校・各種団体他)との連携を深める講座の開設
- 自治会等の各種団体と連携し、地域課題や住民のニーズの把握に努めて地域に親しまれる利用しやすい公民館としたい。
- 身近な生涯学習の拠点とし多くの地域地域住民の方が利用できていること。また、地域住民の仲間づくり、絆づくりができる場となっていること。
- 地域への情報発信の場としていくとともに、地域の拠点としての役割を十分に果たしたい。
- 地域の活動拠点として、誰もが気軽に訪れることができる公民館
- 地域の各種団体との連携を図るとともに、各年代層のニーズに応える講座の充実によって、生涯学習の拠点としての一層の充実を図りたい。
- 情報の発信についての機能を充実・強化することにより、地域の学習・活動拠点として機能の充実や、地域の活性化に貢献できる公民館を目指したい。
- 地域のコミュニティーの場として、活用される場としての位置付けや情報の発信源となるように運営したい。
- 地域全体の社会教育・生涯学習の拠点施設となる館運営を目標としている。
- 地域に開かれた公民館として、誰でもが気軽に利用し、「住民が集い、学び合い、絆を深める場」となるような公民館活動や運営を目標としている。

- 地域に愛され必要とされる公民館づくり
- 地域団体と連携をとりながら地域の生涯学習施設・交流施設として多くの人に利用していただくとともに文化の発信拠点の機能を果たす。
- 姫路の片田舎の町の人々が、地域肯定力を高めていただくことが目標である。多くの音楽イベントを通して、明るく楽しい地域にし、グローバル社会ではあるが、町で住む意義を見つめ直して頂くきっかけにさせていただき、地域貢献や社会貢献に参加していただければ良いと考えている。
- 地域住民の核となる場所づくりを目指す。
 - ・来館したくなる仕掛け。(興味ある、講座、催し、の実施)
 - ・来館したくなる空間創り(館単独では不可であるが、目標として)
 - ・公民館事業の認知度強化(充実した広報作成、可能であればSNS活用)
- 地域コミュニティの中心的な役割を果たし、地域住民の生涯学習・子育て支援・福利厚生などの場を提供する公民館を目指す。地域の繋がりを目指し、地域の各種団体との連携を図る。(特に学社連携の強化を図る。)

ウ 館の雰囲気づくりや心がけに関する目標を設定したもの

- 皆が(一部の人ではなく)利用しやすく、笑顔で元気になり、ためになる公民館をめざす。
- 地域のつながりを大切にしたい、ふれあいの場としての公民館をめざす。
- 設備の改善(あるもので、まずは工夫して)
- すべての世代に元気を生み出す公民館活動
- 一人でも多くの地域の人々の利用を期待して。
- 目標～子供から大人まで皆が利用できる公民館にしたい。 先ずは子供の利用～自習室利用(R4.7月より)は定着していて、更に「公民館開放日の案内」と、毎月開催の「コミュニティ食堂」も貢献している。年配の方に向けては～健康志向を目的としたニーズにも答えている。数値目標はないがロコミによる拡がりで利用者が増えているのを感じている。
- 地域の方の利用が増える様に「公民館に来て楽しい」と喜んでいただける公民館づくりを目標にしている。
- 住民が不安や悩み(独居高齢者、妊婦、マイノリティ等)を語り合える場の提供
- 安全安心な公民館運営に努める。誰もが利用して良かったと思ってもらえる公民館を目指して、挨拶、環境整備、来館者や講座生との人間関係を醸成するとともに、みんなで創り上げる公民館活動の活性化に努める。
- 姫路市花と緑のコンクールで入賞を。
- 地域の皆様が気軽に集い・楽しみ・学べる公民館の雰囲気づくり。
- 5年後の公民館をしっかりとイメージし、補助員とそのイメージを共有した活動が続ける。日々の活動としては、日々の問題点に目をそらさず、自分たちが出来る改善を継続する。(令和3年、4年、5年度の継続)
- 地域にねざした文化・教養・ふれあいの場として子どもから高年者まで幅広く活用できる公民館をめざす。
- 公民館として何より重要だと職員一同意思統一をしていることは来館される方を暖かく迎えることである。当館は広い図書室に集会室が一体となっており、以前より、学習に読書に部屋が使用されている。また、当館主催の教養講座や地域講座にも積極的に参加される方も多数ある。今後も当館が地域の拠点となるよう取り組む。
- 未来に向かって 集い学び元気を生み出し地域の活性化を目指している。
- 新規の来館者を増やしたい。

エ 特定の世代を対象に目標設定したもの

- 利用者増加への企画立案(特に男性や児童生徒)調理実習室や研修室の利用のありかた
- 女性の利用が多くまた利用者が高齢化していく中、男性・若年層に公民館の存在や各種講座の実施状況を知ってもらう工夫をして、多世代が利用できる公民館にしていくこと。
- 昨年度設置されたWiFi活用を踏まえ小中学生が来訪し易い方法を検討したい。
- 高齢者の健康志向、デジタル講座等の関心が高いので人気講座は申し込みが早く満席になるため、平等性を勘案することや子供の利用者ができる講座内容や参加できる曜日設定に取り組みたい。
- 子どもの来館者を増やすための「子ども事業」を継続して展開する。親子で学ぶ講座も増やしていきたい。
- 子ども(児童)の利用者増加のため児童対象教室新設
- ・若い講座生を増やす。
・小中学生の利用者を増やす。
- 児童生徒が公民館を学習の場として、活用できるよう、各学校に連絡し、入館者増をはかりたい。

オ 講座の工夫に関して目標設定したもの

- 講座の広報を積極的に行う。特に、健康講座・健康歌声サロン・健康体操などの地域講座の5割増員を目指した。
- 文化講座の活性化
- 住民が参加しやすい講座内容とする。
- 文化講座の内容充実と講座数の増加に向けて努力すること
- 高齢化に伴う先細り感のある文化講座の新規講座の企画を行うとともに、講座生にニーズに合った教養地域講座内容を検討したい。
- ボランティア講師による新規講座の開設を目指す。
- 世代を超えた交流機会の充実(地域講座「みんな集まれ！○○○」実施)
- 公民館の利用者増に努めてきたが、特に公民館の役割の一つである「まなぶ」の分野に弱さを感じている。今後、ニーズの把握に努め、さらに多くの方に来館していただけるよう講座の充実に力点を置いて運営していきたい。
- 新しい文化講座を年間、ひとつ立ち上げる。
- ・新規文化講座 文化講座に移行し継続出来るような内容の教養&地域講座を実施する
・未就学児向講座の開講
・子供講座の改革
- 誰でも参加しやすい教養講座を取り入れる。
- 減少している文化講座開設。
- 現在各講座に参加している人はほぼ同じ人なので、講座の数を増やして、新規の参加者を増やしたい。